

平成31年1月栄町教育委員会定例会会議録

期日 平成31年1月30日（水）開会：午後2時 閉会：午後4時

会場 栄町役場3階第2会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	藤ヶ崎 功
委 員(教育長職務代理者)	中 島 宣 行
委 員	大久保 雅 從
委 員	弘 海 千 鶴
委 員	石 川 京 子

欠席委員 なし

説明のため出席した職員

教育総務課長	池 田 誠
学校教育課長	大 野 真 裕
給食センター施設長	亀 田 浩

職務のため出席した職員

教育総務課長補佐（書記）	由 井 茂
--------------	-------

傍聴人：0人

- 1 教育長開会宣言
- 2 議事の進行 中島宣行委員（教育長職務代理者）
- 3 署名委員の指名 石川京子委員
- 4 会期 本日1日限り
- 5 教育委員の活動報告

藤ヶ崎教育長：

大寒から節分の狭間で、最も寒さ厳しい中、ご足労いただき、ありがとうございます。それでは前回12月定例会以後の活動報告をいたします。

12月23日、日曜日、t o t oからの補助金を活用しております6回目となる「さかえスポーツフェスタ」が栄中学校にて開催されました。

t o t oをご担当する白須賀代議士も駆けつけて下さり、教育委員の皆さんを始め、町長、町議とともに参加してきました。バレーボールでは丸山由美さん、ヨーコ・ゼッターランドさん、卓球では渡辺恵子さん、渡辺将人さん、陸上競技では田代章さん、君野貴弘さんら、世界で活躍された指導者の皆さんから、近隣の中学生が、準備運動から細かな動きにわたるまで、直接指導を受けました。中学生の動きが、生き生きとしたしなやかな動きに変わっていているようでした。

25日には、竜角寺台小と栄中の「ウィンターわくドラ」の視察に出向きました。冬季休業中にもかかわらず、子ども達が学校にきて、それぞれ勉強に励んでいました。地域の方々のご協力に頭が下がりました。

翌日は、安食台小、安食小、布鎌小の「ウィンターわくドラ」に出向きました。布鎌小では、低中高学年に分かれて学習していました。高学年は大久保委員（元校長）が指導してくれていました。低学年は田辺元校長と小島元校長、中学年は長澤元校長が中心となって担当してくれていました。また石川委員が視察されてきました。

27日は、国土交通省利根川下流河川事務所員が来庁し、防災教育推進の依頼について、町長と一緒に話を聞きました。新学習指導要領で防災教育がクローズアップされてきている中、町内校長会にて、支援内容を伝達することを約束しました。

年が明けて、7日には、町長、副町長、関係課長とともに県庁へ年始の挨拶に出向きました。森田知事、両副知事、そして、関係各課を回りました。教育庁関係では、澤川教育長、教育次長、特別支援課、文化財課を回りました。その後、別働隊として、教育庁内各課長に挨拶し、教育会館各所へと回りました。

午後は、北総教育事務所、CATV296、日本食研を回ってきました。

8日は、「栄町を愛する女性の会」に、町長、担当課職員とともに参加しました。

10日は、平成30年度末定期人事異動にかかる、各校長との面接を行いました。

午後は、布鎌小学校にて、1月の校長会議が開催され、柱の1つである不祥事根絶と、2つ目の働き方改革について話しました。そして、国土交通省からの防災教育の協力依頼に対して、翌日、布鎌小学校から防災協力について回答を得ました。国土交通省の職員が実験器具を持参して、防災教育としての理科実験を行ってくれるとい

うものです。

また、授業参観では、子ども達が落ち着いて学習していました。

12日土曜日は、新春恒例の出初め式がふれプラ大ホールにて挙行されました。

少年消防団に加え、今年から結成したばかりの女性消防団員が華を添えていました。何より、栄中学校吹奏楽部の演奏が、観客を魅了しておりました。お疲れ様でした。

13日は、委員の皆さんにもご足労願った「栄町成人式」が、ふれプラ大ホールで挙行されました。未来を担う成人に期待を込めるよい式典となりました。

一つ残念だったことは、恩師が祝辞を述べている際、壇上に上がりこみ、恩師からマイクを取り上げ、不明な言動をした男性成人が出てきてしまったことです。壇上に易々と上がる前に、制服私服を問わず警察官をお願いしておくといった準備が、必要かなと思いました。

また、栄中恩師が、東中の卒業生とは言っても、壇上に上がってきた狼藉者に易々とマイクを渡すことにも、違和感と驚きを覚えた次第です。少なくともマイクを渡して欲しくなかったなど、感じました。卒業式だったらどうしたのでしょうか。ご本人は高校の教員として、日頃から高校生に関わっているのではないかと、大いに疑問に思った次第です。式典には式典に相応しい対応があると感じました。

なお、14日の毎日新聞では、先に改正された民法により、2022年4月に成人年齢が引き下げられ、成人式のあり方を定めた法律が無い中、「18歳の年齢で式典を行うか、現状のままか」という取材の結果が掲載されていました。18歳では、大学受験を控えていること、制服で華美にならず質素な式典が可能であること、現状の20歳では、全てが18歳に引き下げられるわけではなく、飲酒・喫煙、ギャンブル等現状の20歳のままの法律も残ることや、20歳の方が「成年としての環境が整う時期が式典に相応しい」といった、両者の意見を採り上げていました。

京都市は、昨年9月に「式典の二十歳維持」を表明しており、成人式発祥の地である「蕨市でも、教育的な配慮だけでなく『先人たちの思いを受け継ぐ』と言う点を主な理由として「『二十歳での式典』継続」を決めているようです。

まだ、決めていない市町村がほとんどとのことですが、今後、町長部局と協議する前に、委員の皆さんの御意見をいただくこととなりますので、お考えをまとめておいていただけたらと考えます。

これが、県教委の金本教育長職務代理者の唱えております、先月に引き続き繰り返しますが、「教育委員は、単にレイマン的な発言をして終わりというのではなく、様々な施策の企画の当初の段階から関わる、一緒になってやっていく存在でなければ

なりません。そこに教育委員というものの価値があります。」と、11月15日の教育委員研修会で述べられたことに繋がるものです。

話を元に戻します。

15日、佐倉の合同庁舎にて、印旛郡市教育委員会連絡協議会が開催されました。2月1日に印旛教育会館で開催される表彰式と、インフルエンザの罹患状況、今後の課題として、長期休業における学校の空直期間の問題等協議しました。

16日、町内教頭先生を集めた月例の教頭会議を役場で行いました。特に、教育課程の編成について重点を置いて話しました。

17日、印西市の大森小学校にて、県教委との人事面接を行いました。各校長が次年度の学校経営を視野に入れた人事構想を説明し、北総教育事務所・管理課へ要望しました。

夕方は、安食小学校で始まったばかりの「放課後子ども教室」に、コーチングバリュー協会の代表理事である東根博士と大羽専任コーチが来校され、子ども達への指導をとおして、コーチングの理論と実践を、支援員のボランティアが学んでいました。弘海委員及び早川議員さんら10名を超える方達が11名の子ども達を指導していました。頭が下がります。

19日土曜日には、印西市の松山下陸上競技場で、印西地区近隣中学校駅伝大会が開催され、開会式に参加しました。以前は、「学警連」、つまり、学校警察連絡協議会の布鎌地区が印西警察署管内ということで、例年招待されているようです。

開会式では、優勝杯返還で、昨年3位に入った栄中学校男子チームがトロフィー返還をしていました。男子が10時スタートと1時間も待ってられないので、9時半から順天堂大学をお借りして始まっている「スポーツ振興くじ助成事業 toto の補助金を活用した『さかえスポーツフェスタ』親子体操教室」に向かいました。

旧印旛村に位置する順天堂大学の理事長さんの名を冠する「オガワ・ジムナスティック・アリーナ」に着くと、ふれプラからバスで移動した37名の親子が床運動のマット上で、三点倒立をしているところでした。指導は、オリンピックである体操競技部原田監督と新竹コーチ、そして部員の方でした。

最後には、現役選手の鉄棒と平均台の見事な演技を見せてもらい、子ども達は、本物に触れることができました。

22日火曜日には、皆さんとともに、千葉県市町村教育委員会連絡協議会主催の研修会に参加してきました。講師は「スマートサイバープロジェクト特別講師 佐藤敏郎氏」で、東日本大震災時に女川第一中の教務主任であるとともに、大川小に通っていた小6の娘さんが犠牲となられた、「『辛い』といった」一言では言い表せない、

ご体験をお持ちの方でした。

前半は女川一中での教師体験、卒業式の前日準備をしていた日が災害発生日だったので、一週間延ばした卒業式の写真がスライドショーで写りました。しかし、前日は、娘さんの告別式だったこと。国語の教師で、子ども達には俳句づくりを通して接していたこと。

後半は大川小での保護者体験談でした。なぜなのかという、さまざまな角度からご説明をいただきました。

最後に、「行ってきますと言ったら、必ず大きな声で、『ただ今』と言うこと。それが防災です」というまとめで、安全安心を第一に考える学校現場の重要性を再確認させられました。

私としても、平成26年の8月に、大川小に行ってきましたが、私自身の目で、脚で実地見学してきた時は、「あの山には登れなかったなあと、諦めの境地で観察して来たわけですが、佐藤さんのお話を聞いて、「しいたけ栽培していた山」、「生活科で自然観察していた山」に気づかされ、びっくりしました。

教員として、被災された経験と、何にもまして、お嬢さんが津波で命を落とされたという現実からの訴えが心に染みしました。

また、大川小近くの新北上大橋の橋脚に、津波とともに遡上した松の樹木がひっかかり、そこで、津波の上流への流れが妨げられたことにより、校舎並びに周辺の住宅等をなぎ倒す原因だったことを知りまして、今回、河口より70キロメートル離れているとはいえ、若草大橋に同様な被害が発生した際、布鎌小へ向かう濁流が無いとは言いきれないと感じました。布鎌小で、次年度から防災教育として、国土交通省の方が来校し授業をしてくれることに感謝し期待するところです。

23日、日本食研の矢葺統括部長が今治からお出でいただき、栄町教育振興会からスマイル・パートナーズへと贈呈した感謝状の御礼に立ち寄っていただきました。国や県が障害者雇用を水増ししている中、スマイルパートナーズさんでは、障害を持った人が、唐揚げ用に、唐揚げ粉、小麦粉等、必要な袋の中身が確実に密封されているかを確認して、袋詰めして、最後に点検して出荷するお仕事を任されているということです。そして、将来所帯をもって独立しても生活していける福利厚生まで整えて下さっていると聞いております。本当に頭が下がります。因みに、ただ今6人働いており、来年度以降も増やしていただけるとのことです。

24日、本日に備えての教育委員会内、課長会議を開催しました。

25日は、株式会社広域高速ネット二九六にて、「放送番組審議会」が開催され、自主制作番組について、審議して参りました。視聴した番組は、伊能忠敬をテーマと

した番組と、山武市等消防組合の新人訓練のドキュメンタリーでした。伊能忠敬については、よく取材された番組でしたが、消防士の新人訓練には、2ヶ月に及ぶ、生の訓練を撮影し、訓練終了時には、教官と新人が感涙する場面で終わっていました。しかし、昨今問題となっている、警視庁や自衛隊のパワハラと同じではないかと感じましたので、委員として、「11月1日放映開始後、これまで、感想や苦情が寄せられなかったか」を尋ねました。1件もきていないという回答でした。議事録にも残るはずですので、部活動の体罰問題とも絡めて、意見を述べてきた次第です。

26日土曜日、秀明大学特任教授の鳩貝太郎先生と面談し、秀明大学の学生が教員採用試験で合格率50パーセントを超えたという実績から、栄町として、学生を活用してもらえたらという依頼がありました。町教委としては、今後、サマースクール等で支援をしてもらえるような関係を築けたらと思います。

秀明大学教育研究所吉開所長は県教委の指導課長だった時に、一緒に私も県教委に勤めていましたので、ウィンウィンの関係構築になるよう、これから詰めていきたいと考えています。

その後、2階会議室で開催されていた「ドラムサロン」に立ち寄り、「浅間山古墳」について、房総のむら上席研究員さんの話を聞き、途中抜け出して、「ドラム自然楽校」の閉講式に参加しました。社会教育委員さんと青少年相談員が主体となって、開校式の田植えから始まり、カヌー体験、キャンプ、稲刈り、コスプレ体験等各種行事を設定し運営してくれました。教育委員会を代表しまして、御礼を述べて来ました。

そして、6月に委員勉強会で御意見をいただき、その後の定例会で議決いただいた「栄町小・中学校部活動ガイドラインの制定」に続き、教職員の働き方改革について、市町村教委の役割とされる「業務改善方針及び計画の策定」を先ほどの勉強会で揉んでいただきました。お伺いした御意見を反映させ、2月の定例会議で議案として提出する予定であります。

以上、報告と致します。

それでは、議事について、よろしくご審議のほど、お願いします。

大久保委員：

26日、布鎌小学校で開催されましたウィンターわくドラに参加して参りました。高学年を担当しましたが、子ども達は良く勉強に励んでいました。残念だったのは、参加人数が少なかったこと。来年はもう少し今年より多く参加してもらいたいと感じました。

低学年の参加者数はある程度いましたが、勉強が良く出来る児童が多かったので、

来年は勉強があまり得意でない児童を教えたいと思いました。

13日の成人式に参加しましたが、残念だったのは、先ほど教育長から話がありました成人者1名が式を騒がしたことです。会場内にも警察官にいただいた方が良かったと思いました。

弘海委員：

1月17日、コーチングバリュー協会の^{あずまね}東根先生と大羽コーチから、運動でも遊びでもない「コーディネーション運動」という目や耳など、バランス・リズム・認知・反応・操作の反応を五感と言いますが、その五感で察知したものを頭で判断し、具体的に筋肉を動かすといった能力を使った運動を体験させて頂きました。

普段から遊んでいるボールやフラフープを、ただ相手に向かって投げるだけではなく、自分の上にボールを投げて1回転した後、ボールをキャッチしてから相手に投げるなど、いつもと違うボール遊びをしたりしながら体感を鍛えていました。

子ども達も楽しかったみたいで、汗だくになりながら夢中でやっていました。一番驚いたのは、普段の放課後教室は、宿題をして工作、遊びの流れで行っていますが、宿題を始めても1人でやれる子と、おしゃべりや遊んでばかりで全然進まない子がいるのですが、運動して集中力が高まっていることもあり全員が10分以内に宿題をこなすことが出来ました。普段ならあり得ない光景なので、スタッフ一同で驚きました。また機会があれば、東根先生からもお手伝い頂けるとの事なので、ぜひ安食小だけでなく他の子ども達にも指導していただけると良いかなと思いました。

1月24日、個人的なことなのですが、安食小学校1年生の昔あそびに参加してきました。今年は安食台小と竜角寺台小のふれあい推進員の方もボランティアとして参加していただきましたが、ここ数年、どこの学校でもボランティア活動に参加していただける方が少なくなってきていますので、募集をかけても人が集まりづらい現状を、他校はどうしているのか？などの意見交換や今回のように他校の活動に参加してもらえるような関係を築ける場があったら良いと思いました。

なかなか、PTAをはじめ、ふれあい推進員等の地域ボランティアの方と会う機会も少ないので、教育委員会が交流の場を提供し活性化を図る必要があると感じました。

石川委員：

26日に開催したウィンターわくドラの会場の竜角寺台小、安食台小、布鎌小を見学して来ました。昨年も感じたのですが各学校によって特色がありました。竜角寺台小は、地域の方々が中心となったボランティア、安食台小は、学校の先生、高校生がボランティア、布鎌小はOBの先生たちがボランティアとしてそれぞれ学習支援をし

ていました。各学校ともそれぞれボランティアの形が違いそれぞれの雰囲気がありました。ふれプラが会場の時は、いろいろなボランティアの方々が携わり学校と違った雰囲気や特色がありました。各会場で行っている良いところを参考とし、今後わくドラがもっと良くなって行って欲しいと思います。

中島委員：

成人式のことですが、参加人数のわりに施設が大きすぎると思いました。私も大学で講義をする時に人数が少ない場合は、後ろに座らないよう、出来るだけ前に座るように指導しています。今後参考にしてくれればと思います。

先程も話がありましたが、成人式に成人者が壇上に上がる前に、なんとかできなかったのか、壇上の下に係員がいて、そのような者がいた時には止めるようにする必要があったと思いました。

第2回教育長・教育委員研修会で印象に残ったのは、大川小の校庭に12名いた教員の中で1名の方がご存命であり、その先生の方から話を伺えないことが残念でした。いろいろな事情があると思いますが、今後いろいろな所で災害が起こる可能性がありますので、いざという時にどのように対処したのか事実を検証していけたらいいのになと思いながら佐藤先生の話聞いていました。また、布鎌小も他人事ではないと思っただのと同時に石巻市教育委員会の対応等も考えさせられました。

大野学校教育課長：

学校のインフルエンザの状況ですが、1月16日から発症がありまして栄中学校1年生が2クラス、2年生が1クラスの学級閉鎖がありました。約1週間で沈静化しまして現在ほどの学校も正常に行われています。ただ、全て抑え込まれたわけではなくて、時々一部の児童生徒が発症している状況です。

6 案 件

報 告

報告第1号 いにしえの道をたどって～なりた道を歩こう～の後援承認について

池田教育総務課長：

それでは、報告第1号についてご説明いたします。

この行事につきまして、平成31年1月8日付けで、のら里くら里健康ウォーキン

グの会代表 中澤一夫氏から「いにしへの道をたどって～なりた道を歩こう～」について後援承認申請がありました。行事の趣旨は、昔、成田山詣で賑わった安食から成田山新勝寺までの旧なりた道をたどり、当時の街道に思いを馳せ、街道の魅力を PR するとともに、参加者の健康づくりと相互の親睦、地域の活性化を図るものです。会場及び日程は、JR安食駅北口→白山（百庚申）→酒直（多宝院・素羽鷹神社）→旧栄東中前→房総風土記の丘→坂田ヶ池→二宮神社→北総鉄道湯川駅→郷部交差点→埴生神社（三宮）→成田山新勝寺本堂前（ゴール）で2月16日（土）に行われるものであります。参加予定者数及び参加の方式は、50名でふれあいプラザさかえ窓口に申込書を提出するものです。行事の後援者として、栄町教育委員会を予定しております。

この事業につきましては、共催及び後援規程の趣旨に沿ったものでありますことから、教育長が専決処分したものでございます。以上よろしくお願いいたします。

7 議 事

(1) 議 案

議案第1号 栄町学校給食費預金口座振替収納事務取扱要綱について

大野学校教育課長：

提案理由です。栄町学校給食センターの管理運営に関する規則第11条の規定により、栄町学校給食費預金口座振替収納事務取扱要綱を制定することについて、栄町教育委員会行政組織規則第7条第2項の規定により、栄町教育委員会の議決を求めるものです。

亀田給食センター施設長：

本要綱につきましては、従来学校給食費は、学校費として徴収しておりました。これは学校と銀行が契約をして、それに基づき保護者が銀行で手続きを行っていましたが、平成31年度より、学校給食費を公金扱いとし、町と金融機関が契約をして収納事務を行う形に変更を行うものです。それに伴い、収納事務の取扱要綱が必要となりましたので新たに制定するものです。この要綱については、現在町税関係と同じ内容となっており、平成31年4月1日から施行するものです。

《審査結果》

承認

議案第2号 平成30年度準要保護児童の追加認定について

中島議長：発議

議案第2号は、栄町教育委員会会議規則第11条の2の規定により秘密会とする。

《審査結果》

秘密会に決定

大野学校教育課長：

資料に基づき説明

《審査結果》

承認

8 各課からの報告

池田教育総務課長：

第5次総合計画を作成し、現在パブリックコメントを実施しております。教育委員会が該当している箇所を抜粋してご提示させていただきましたでご覧になっていただければと思います。

2月23日に行われます家庭教育学級のI I K Sの案内になります。お時間がゆるせるようでありましたらご参加ください。

リバーサイドマラソンの開催についてですが、当初4,000人を予定しておりましたが、約3,600人の参加の申込みがありました。昨年より多くの参加となります。できれば、ご来場していただきたいと思います。

2月3日節分の豆まきを1時30分からふれプラで行われます。千賀ノ浦部屋の力士6名が来まして豆まきを行いますのでご案内いたします。

亀田給食センター施設長：

2月の献立予定について、今月は給食を19回行います。その中で、各小学校の6年生が考えた献立を6回提供いたします。赤・黄・緑の食品をバランス良く

取れるようにしたり、苦手なものを入れたり、いろいろな工夫をしてくれました。毎年2月と3月に子ども達が考えた献立を取り入れています。この献立は、栄養士が学校に行き子ども達に栄養指導した中で、作られたものです。

別紙の「食べ物のお話」は給食を提供するたびに学校に配付して、給食の前に読み上げていただいています。今回は、栄町産の黒大豆についての掲載になります。栄町産の食材について紹介し、子ども達に知ってもらうように取り組んでいます。

大野学校教育課長：

「栄町立学校における働き方改革推進プランについて」説明いたします。
(資料により、内容説明)

9 その他

池田教育総務課長：

2月の教育委員会議は2月27日に行う予定です。

10 教育長閉会宣言